

第1日 3月19日(木) 9:00~10:45

時間	A 会場 1012 果樹 I	B 会場 1123 果樹 II	C 会場 1125 果樹 III	D 会場 1011 野菜 I	E 会場 1106 野菜 II	F 会場 1105 野菜 III
9:00	<p>遺伝育種 (カンキツ) 市ノ木山浩道</p> <p>果 001 カンキツ果実形質間の遺伝相関 ○今井 篤・野中圭介・深町 浩・高原利雄 (農研機構果樹研)</p>	<p>遺伝子解析 (1) 山本 俊哉</p> <p>果 022 カキの甘渋性決定に関与する転写因子 <i>DMy64</i> の同定 ○赤木剛士¹・池上礼子¹・佐藤明彦²・小林省蔵²・米森敬三¹ (1 京都大院農学研究科, 2 農研機構果樹研)</p>	<p>核果類 羽山 裕子</p> <p>果 044 活性炭の混和がウメ連作土の生育阻害活性に及ぼす影響 ○大江孝明¹・西原英治²・平田 武³ (1 和歌山農総技七果試うめ研, 2 鳥取大農学部, 3 味の素ファインテクノ(株))</p>	<p>育種・品種: トマト I 梶田 正治</p> <p>野 001 低密度植・養液栽培用心止まり性トマトの育成と特性評価 由比 進¹・○山田圭太²・近藤文恵³・本城正憲¹・片岡 園¹・板木利隆⁴ (1 東北農研セ, 2 JA 全農管技セ, 3 元粉全農ビジネスサポート, 4 板木技術士事務所)</p>	<p>育種: 品種: ネギ I 室 崇人</p> <p>野 027 短葉性ネギ育成系統の 6,7 月どり栽培における生育および品質特性 ○若生忠幸・山下謙一郎・塚崎 光・小島昭夫 (農研機構野菜茶研)</p>	<p>栽培: アスパラガス 浦上 敦子</p> <p>野 053 成園化したアスパラガス圃場の欠株部分における補植苗の液状活性炭処理の効果 ○元木 悟¹・西原英治²・篠原 温³・上杉壽和¹ (1 長野野菜花き試, 2 鳥取大農, 3 千葉大園芸)</p>
9:15	<p>果 002 カンキツ新品種 '安芸まりん (仮称) ○今崎陽一郎・金好純子・原田美穂子²・中谷宗一²・古田貴音²・野上暁子^{**}・大政英司^{**} (広島総研農技セ, 広島総研保環セ, 広島農林水産局, ** 広島東部農技指導所)</p>	<p>果 023 超早期加温型ハウスミカンの着花量と <i>CFT</i> 発現量との相関 ○赤野拓¹・西川美美恵^{2,3}・遠藤朋子³・高佐和成⁴ (1 大分農林水産研果樹, 2 日本学術振興会特別研究員, 3 農研機構果樹研, 4 大分県南部振興局)</p>	<p>果 045 溶液受粉によるウメ '南高' の結果安定 ○藤川和博・稲森博行・橋元祥一 (鹿児島農総七果樹北産)</p>	<p>野 002 高温期の高秆高ハウス・養液栽培による高生産性トマト系統の選抜 ○山田朋友 (農研機構野菜茶研)</p>	<p>野 028 栄養繁殖性野菜ワケギ由来の形質を導入した葉ネギ系統の開発 ○浦川真也¹・谷口成紀¹・稲田佳奈子²・執行正義¹・山内直樹¹ (1 山口大農学部, 2 北九州合同青果)</p>	<p>野 054 アスパラガス促成栽培における株の伏せ込み時期と若茎収穫パターンとの関係 ○武田 悟・篠田光江・本庄 求 (秋田農技七農試)</p>
9:30	<p>遺伝育種 (リンゴ) 本多 親子</p> <p>果 003 リンゴ褐斑病抵抗性の検定方法 ○阿部和幸・岩波宏・森谷茂樹・兼松聡子 (農研機構果樹研 (盛岡))</p>	<p>果 024 キンカンの花芽分化と花成関連遺伝子の発現 ○西川美美恵^{1,2}・遠藤朋子²・島田武彦²・古藤田信博²・藤井 浩²・清水徳朗² (1 日本学術振興会特別研究員, 2 農研機構果樹研)</p>	<p>果 046 ポット栽培のモモ樹における生育ステージに応じた樹液流速に基づくかん水判断指標の解明 ○浜名洋司¹・山根崇嘉¹・塩田勝紀¹・中野幹夫² (1 広島総研農技セ, 2 京都府大生命環境科学研究所)</p>	<p>野 003 '桃太郎 8', 'Geronimo' およびそれらの自殖集団を用いたトマト収量連産形質の解析 ○松永 啓・大山暁男・齊藤猛雄・斎藤 新 (農研機構野菜茶研)</p>	<p>野 029 ネギ属野生種 <i>Allium roylei</i> 由来異種染色体を添加した <i>Allium cepa</i> 系統における添加染色体の同定 ○吉松康行・岩田真智子・ブウ クウエン ホア・谷口成紀・山内直樹・執行正義 (山口大学農学部)</p>	<p>野 055 湛水およびアレロパシーがアスパラガスの生育に及ぼす影響 ○酒井浩晃¹・小林貴典²・上杉壽和¹ (1 長野野菜花き試, 2 長野農大)</p>
9:45	<p>果 004 青森県におけるリンゴ黒星病抵抗性育種と DNA マーカーの利用 ○工藤 剛¹・五十嵐 恵²・深澤 (赤田) 朝子¹・初山慶道²・今 智之¹ (1 青森農林総研りんご試, 2 青森農林総研グリーンバイオセ)</p>	<p>果 025 極早生ウンシュウの果実成熟初期に発現する転写因子様遺伝子の解析 ○清水徳朗¹・矢野加奈子¹・大村三男²・古藤田信博¹・島田武彦¹・西川美美恵¹・遠藤朋子¹・藤井 浩¹ (1 農研機構果樹研, 2 静岡大学農学部)</p>	<p>果 047 断根およびウニコナゾール処理がモモ 1 年生実生の花芽分化に及ぼす影響 ○塚原清子¹・山根健治¹・八巻良和・藤重宣昭・本條均 (宇都宮大農学部)</p>	<p>育種・品種: トマト II 北 宜裕</p> <p>野 004 糖度の高い大玉トマト新品種 '甘しずく' の育成 ○山田文典・多々木英男・牛尾正道・金井幸男・湯谷謙 (群馬農技セ, 2 社) 群馬植防)</p>	<p>野 030 ネギ属野生種アリウムロイレイを利用した新規タマネギ細胞質雄性不稔の安定性について ○岩田真智子・吉松康行・ブウ クウエン ホア・谷口成紀・山内直樹・執行正義 (山口大学農学部)</p>	<p>野 056 アスパラガス忌地症状の組織学的観察並びにアレロパシー障害軽減法の検討 ○山田朋大・八木優季・Nahiyah, A.S.M.・松原陽一 (岐阜大応用生物科学部)</p>
10:00	<p>果 005 リンゴ EST-SSR の開発と連鎖地図へのマッピング ○森谷茂樹¹・岩波 宏¹・古藤田信博¹・山本俊哉²・阿部和幸¹ (1 農研機構果樹研 (盛岡), 2 農研機構果樹研)</p>	<p>遺伝子解析 (2) 金山 喜則</p> <p>果 026 次世代シークエンシング技術によるオウトウの不和合および和合受粉花柱のトランスクリプトーム解析 ○羽生 剛¹・田尾龍太郎¹・松本大生¹・Iezoni, Amy²・Wilkerson, Curtis² (1 京都大院農学研究科, 2 ミシガン州立大学)</p>	<p>カンキツ (1) 林田 誠剛</p> <p>果 048 着果負担の違いがウンシュウミカンの消費水量におよぼす影響 ○中谷 章¹・山本浩之²・宮本久美¹ (和歌山農総技七果樹試)</p>	<p>野 005 'ファースト' 雄性不稔突然変異体を種子親とした軟果皮トマト中玉 F₁ 系統の生育特性 梶田正治¹・遠矢純子¹・村上賢治 (岡山大院自然科学研究所)</p>	<p>育種: 品種: ネギ II 若生 忠幸</p> <p>野 031 温度と交配型がネギニ染色体添加系統の稔性および染色体伝達に及ぼす影響について ○新 正仙¹・末吉孝行²・下村克己²・古賀 武²・山内直樹¹・執行正義¹ (1 山口大農学部, 2 福岡農総試)</p>	<p>野 057 トンネルを利用した寒玉系キャベツ春どり栽培における播種期が結球, 花成に及ぼす影響 ○町田剛史¹・高埜茂典²・山口健一²・川城英夫¹ (1 千葉農林総研セ, 2 JA ちばみどり)</p>
10:15	<p>果 006 リンゴ果皮の着色に関与する QTLs の特性 ○深澤 (赤田) 朝子¹・工藤 剛¹・今 智之¹・五十嵐恵²・初山慶道²・佐藤 耕² (1 青森農林総研セりんご試, 2 青森農林総研セグリーンバイオセ)</p>	<p>果 027 リンゴの <i>MdPI</i> 遺伝子の発現抑制が花器官形成に及ぼす影響 ○田中紀充¹・和田雅人²・岡島淳一²・渡邊 学³・安達義輝¹・壽松木章¹・小森貞男¹ (1 岩手大農学部, 2 農研機構果樹研, 3 岩手大農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研セ)</p>	<p>果 049 早生ウンシュウミカンの高品質・連年生産のための好適な日没時 LWP 域 ○宮本久美¹・土居真純²・中谷 章¹・山本浩之¹ (1 和歌山農総技七果樹試, 2 大阪大院生命環境科学)</p>	<p>野 006 Real-time PCR 法を利用した TVLCV の定量によるトマト類遺伝資源からの黄化葉巻病抵抗性育種素材の検索 ○斎藤 新・齊藤猛雄・松永 啓 (農研機構野菜茶研)</p>	<p>野 032 シャロット由来単一異種染色体添加が葉ネギの α-トコフェロール生成に及ぼす影響について ○谷口成紀¹・山内直樹¹・執行正義 (山口大農学部)</p>	<p>野 058 トンネル栽培における生育初期の換気がダイコンの生育および根形に及ぼす影響 ○川城英夫¹・吉田俊郎 (千葉農林総研セ)</p>
10:30	<p>遺伝育種 (クリ) 佐藤 明彦</p> <p>果 007 花粉親がクリ品種 'ぼろたん' の渋皮剥皮性及び果実重に与える影響 (第 2 報) ○高田教田・澤村 豊・西尾聡悟・齋藤寿広 (農研機構果樹研)</p>	<p>果 028 リンゴ <i>MdPI</i> と相互作用する因子の探索 ○和田雅人¹・田中紀充²・安達義輝²・小森貞男²・守谷友紀¹・工藤和典¹・堀野治彦¹ (1 農研機構果樹研, 2 岩手大学農学部)</p>	<p>果 050 温州ミカン園における土壌水分変化の実態 ○山本浩之¹・土居真純²・宮本久美¹・中谷 章¹・中桐貴生²・田淵友義²・堀野治彦² (1 和歌山農総技七果樹試, 2 大阪大院生命環境科学研究所)</p>	<p>転流: ナス・トマト 河緒 実之</p> <p>野 007 ポジットロニメーミング装置 (PETIS) を用いた葉位によるナス果実への光合成産物移行量および移行部位の解析 ○菊地 郁¹・河地有木²・石井里美²・鈴木伸郎²・藤巻 秀²・本多一郎¹ (1 農研機構野菜茶研, 2 原子力機構量子ビーム)</p>	<p>野 033 シャロットアクセスンションおよびシャロット系種間雑種における化学内容成分の特性について ○小野靖憲¹・ブウクウエン ホア¹・谷口成紀¹・正村典也^{2,3}・山内直樹¹・執行正義¹ (1 山口大農学部, 2 鳥取大連合農学研究科, 3 ハウス食品 (株))</p>	<p>野 059 ブロッコリー栽培における品種と定植期が収穫までの期間に及ぼす影響 ○松崎朝浩 (香川農試)</p>

第1日 3月19日(木) 9:00~10:45

G会場 1103 野菜IV	H会場 1143 花きI	I会場 1146 花きII	J会場 1145 花きIII	K会場 1126 利用I	時間
<p>栽培：イチゴI 壇 和弘</p> <p>野 079 種子繁殖型イチゴの花芽分化特性と夜冷短日処理の影響 ○鈴木智之¹・伊藤善一²・大場由貴¹・丸尾 達²・石川正美³・篠原 温² (¹千葉大園芸学部,²千葉大院園芸学研究所,³千葉農林総研セ)</p> <p>野 080 イチゴ種子の発芽能向上のための種子精選および種子処理法の開発(第7報)マトリックプライミング処理中の水移動モデルに基づいたプライミング処理が発芽および出芽に及ぼす影響 ○伊藤善一¹・大場由貴²・鈴木智之²・丸尾 達¹・石川正美³・篠原 温¹(¹千葉大院園芸学研究所,²千葉大園芸学部,³千葉農林総研セ)</p> <p>野 081 固形培地耕における異なる生育段階での日中の培地加温がイチゴ‘章姫’の開花、生育、収量に及ぼす影響 金 泳錫¹・遠藤昌伸³・切岩祥和¹・陳 玲¹・○藤谷 明¹(¹岐阜大院連合農学研究所,²静岡大農学部,³静岡大イノベーション共同研セ)</p> <p>野 082 培養液濃度が‘かおり野’の収量・生育に及ぼす影響 ○磯崎真英・梶田泰宏・村上圭一・数田信次(三重農研)</p>	<p>品種特性・育種 中村 薫</p> <p>花 001 切り花用マーガレット‘ホワイトジュエル’の育成 ○稲葉善太郎(静岡農林研伊豆農研セ)</p> <p>花 002 カラナデシコ野生種を利用した早生性、高生産性でかつ花持ち性の優れたカーネーションの育種(第1報)BC₁選抜系統の特性とBC₂世代の育成 ○小野崎 隆・八木雅史・棚瀬幸司(農研機構花き研)</p> <p>花 003 紫の花色を持つケナフの園芸種への導入を目的としたコルヒチンによる4倍体個体の作出 ○川原勇太・小笠原利恵・福井博一(岐阜大学応用生物科学部)</p> <p>花 004 シネンシス系デルフィニウム4倍体系統‘青フラDel12号’と2倍体品種との交雑および胚珠培養による雑種育成効率の向上 ○本多和茂¹・木田聖子¹・前田智雄¹・後藤 聡²・鹿内靖浩²・佐々木和也² (¹弘前大農学生命科学部,²青森農林総研フラワーズ)</p>	<p>バラ 島 浩二</p> <p>花 022 バラの株元加温が収量及び切り花品質に及ぼす影響 ○原 靖英・柳下良美・深山陽子・美濃口薫(神奈川農研セ)</p> <p>花 023 バラの養液栽培における台木の種類が収量および形質に及ぼす影響 ○梶原真二・勝谷範広(広島総技研農研セ)</p> <p>花 024 空気熱源式ヒートポンプを用いた夏季夜間冷房がバラの収量品質に及ぼす影響 ○佐藤展之¹・守谷栄樹²・安井清登³・佐藤仁宣³・野々下知泰⁴(¹静岡農林研,²中部電力㈱,³三菱重工空調システム㈱,⁴ネボン㈱)</p> <p>開花生理 本岡 竹司</p> <p>花 025 エキシビアの開花に及ぼす温度の影響 ○乗越 亮・新井安武・小池安比古・今西英雄(東京農業大農学部)</p> <p>花 026 苗質及び低温処理の違いがリモニウム品種(Limonium hybrida)の開花に及ぼす影響 ○森本正幸・原紀代美(キリンアグリバイオ(株))</p> <p>花 027 冬期夜温の違いがスプレーカーネーションの開花、収量、切り花品質に及ぼす影響 ○馬場富二夫・稲葉善太郎(静岡農林研伊豆農研セ)</p> <p>キクI 仲 照史</p> <p>花 028 栄養成長期および花芽発達期におけるEOD-heatingがスプレーキクの開花および切り花品質に及ぼす影響 ○川西孝秀¹・島 浩二¹・道園美弦²・久松 完² (¹和歌山農総研セ農試,²農研機構花き研)</p>	<p>形態生理 渋谷 健市</p> <p>花 047 ベチュニアの大輪品種におけるサイトカニン初期情報伝達系遺伝子の構造・発現の特徴 ○西島隆明・仁木朋子・仁木智哉(農研機構花き研)</p> <p>花 048 CPPU処理したトレニアの花芽における分裂組織関連遺伝子の発現解析 ○仁木智哉・Mahesumu Taximaimaiti・仁木朋子・西島隆明(農研機構花き研, Yili Teachers Univ.)</p> <p>花 049 アジサイ花房におけるファイトプラズマ感染による装飾花形成数の増加 ○北村嘉邦¹・細川宗孝¹・上町達也²・矢澤 進¹・下知泰⁴(¹京都大院農学研究所,²滋賀県立大環境学部,³滋賀県立大環境学部,⁴ネボン㈱)</p> <p>収穫後生理I 市村 一雄</p> <p>花 050 小ギク切り花の収穫後の黄化葉発生に及ぼすSTS処理の濃度および時間の影響 ○山中正仁¹・石川順也¹・小山佳彦¹・仲 照史² (¹兵庫農総セ,²奈良農総セ)</p> <p>花 051 サルビア(S. splendens)におけるNaCl水溶液灌漑による萎凋抑制効果の持続性と植物体内Na⁺濃度の変化 ○上田真由美・仲 照史・平浩一郎・角川由加・前田茂一(奈良農総セ)</p> <p>花 052 トルコギキョウ切り花のMA包装による保管および包装内環境について ○工藤陽史・山口 茂・佐渡 旭(熊本農研セ)</p>	<p>品質評価 立石 亮</p> <p>利 001 レタスのおいしさ評価法の開発 2. 苦味評価 ○堀江秀樹¹・出澤文武² (¹農研機構野菜茶研,²長野野菜花き試)</p> <p>利 002 収穫時期の異なるレタスの特性と加工業務用収穫適期の検討 ○星野英正¹・小澤智美¹・小松和彦²・上杉壽和¹・神山かおる³(¹長野野菜花き試,²長野野菜花き試佐久支場,³農研機構食総研)</p> <p>利 003 ヒトの咀嚼と機器による貫入試験で測定したキュウリのテクスチャーの比較 ○神山かおる¹・加藤 愛¹・玉木有子²・桜井直樹³ (¹農研機構食総研,²新潟医療福祉大,³広島大院生物園科学研究科, 鳥取県産技セ)</p> <p>利 004 野菜果物における特性モデルについて(第1報)イチゴ果実の糖酸分布と食味シミュレーション ○打田 宏・今野 哲・清野聡美(全農)</p> <p>利 005 収穫時のキウイフルーツ果実の携帯型非破壊糖度センサー測定による追熟後糖度の推定 ○福田哲生¹・末澤玄彦¹・山下泰生¹・坂下 亨²・片岡郁雄³(¹香川農試府中分場,²香川農大,³香川大農学部)</p> <p>鮮度保持・成分 堀江 秀樹</p> <p>利 006 海外輸送条件下での1-メチルシクロプロペンによるニホンナシ果実に対する鮮度保持効果 ○島田智人・須賀昭雄(埼玉農総研園研)</p>	<p>9:00</p> <p>9:15</p> <p>9:30</p> <p>9:45</p> <p>10:00</p> <p>10:15</p> <p>10:30</p>

第1日 3月19日(木) 10:45 ~ 12:30

時間	A 会場 1012 果樹 I	B 会場 1123 果樹 II	C 会場 1125 果樹 III	D 会場 1011 野菜 I	E 会場 1106 野菜 II	F 会場 1105 野菜 III
10:45	<p>果 008 ニホングリとモーパングリの種間雑種における表現型とSSR 遺伝子型の解析 ○佐々木道康¹・霞 正一²・原 弘道¹・井上栄一¹ (茨城大農学部,²茨城生工研)</p>	<p>果 029 リンゴ小球形潜在ウイルスベクター技術によるリンゴ実生苗の開花促進 ○山岸紀子¹・佐々木慎太郎¹・山形広輔^{1*}・磯貝雅道¹・小森真男¹・和田雅人²・吉川信幸¹ (岩手大農学部,²農研機構果樹研(盛岡), *岩手奥州農改善セ)</p>	<p>果 051 減農薬栽培による、ウンシュウミカン機能性成分への影響 ○有田 慎・間佐古将則・横谷道雄・藤本欣司 (和歌山農経七果樹試)</p>	<p>野 008 PETISを用いた側枝葉及び果房下葉からトマト果実への¹³C光合成産物転流量の測定 ○草川知行¹・塚本崇志¹・石井里美²・伊藤小百合²・鈴木伸郎²・藤巻 秀²・石岡典子²・河地有木²・堀内尚美³・荻原 勲³ (千葉農林総研セ,²原子力機構量子ビーム,³東京農工大農学院)</p>	<p>野 034 Fusarium oxysporum に対する抵抗性とサボニン生合成経路に關するシャロット染色体特定を試み ○Vu Quynh Hoa・El-Sayed A. Magdi・山内直樹・伊藤真一・執行正義 (山口大農学部)</p>	<p>野 060 水耕ベビーリーフレタスの刈り取り再生栽培におけるNO₃-N施用量管理が生育と収量、品質に及ぼす影響 ○菊田夏美・丸尾 達・篠原 温 (千葉大院園芸学研究所)</p>
11:00	<p>遺伝育種 (その他) 山本 雅史 果 009 オウトウ樹脂細菌病低感受性の後代分離 ○石黒 亮・本田 浩央・八重 垣 英明・丸川 崇 (山形農総研セ)</p>	<p>生生活性物質 児下 佳子 果 030 アープスキュラー菌根共生におけるシグナル物質としてのトリプトファンダイマーの普遍性 ○戸田雄太・余 東・堀井幸江・クルス アンドレ・フレイリ・石井孝昭 (京都府立大院生命環境科学研究所)</p>	<p>カンキツ (2) 宮本 久美 果 052 ウンシュウミカン '川田温州' に対する台木、枝梢管理、植調剤の影響 ○佐藤景子・高原利雄・深町 浩・岩崎光徳 (農研機構果樹研)</p>	<p>野 009 トマトの日本品種とオランダ品種における¹³Cの吸収と転流の特性 ○岡 准慈¹・池田英男²・古川 一² (大塚化学(株),²大阪大院生命環境科学研究所)</p>	<p>育種・品種: タマネギ・レタス 執行 正義 野 035 タマネギ品種に含まれるシステインスルフォキシド (ACSOs) 含量の調査 ○室 崇人・嘉見大助・杉山慶太 (農研機構北海道農研)</p>	<p>栽培:葉根菜類 II 川城 英夫 野 061 近紫外線除去フィルム被覆下の土壌水分条件とコマツナの生育 ○野口 貴¹・荒木俊光¹・海保富士男¹・沼尻勝人^{1*}・市村拓野² (東京農林総研セ,²MKV プラテック(株), *東京島しょ農林水産総研セ三宅事業所)</p>
11:15	<p>果 010 カキの落葉時葉色の品種・系統間差異と紅葉生産に適した品種・系統の選抜 ○山田昌彦¹・吉岡陽介²・比嘉浩士²・横山貴充²・小林省藏¹・河野 淳¹・神崎真哉²・宇都宮直樹² (農研機構果樹研,²近畿大農学部)</p>	<p>果 031 アブシシン酸 8 水酸化酵素制御とリンゴの乾燥耐性 ○須川 瞬¹・大川克哉¹・小原 均¹・上野琴巳²・水谷正治³・轟 泰司⁴・平井伸博⁵・近藤 悟¹ (千葉大院園芸学研究,²東京大院農学生命科学研究,³京都大化研,⁴静岡大農学部,⁵京都大院農学研究科)</p>	<p>果 053 温暖化時代の省力的中玉安定生産技術 ○高木信雄・政本泰幸・崎本孝江 (愛媛農水研みかん研)</p>	<p>栽培:トマト I 大石 直記 野 010 オランダおよび日本品種トマトの炭素・窒素分配の特徴 ○中野明正¹・佐々木英和¹・安場健一郎¹・鈴木克己¹・高市益行¹・河崎靖¹・池田英男² (農研機構野菜茶研,²大阪府立大)</p>	<p>野 036 タマネギにおける外皮ケルセチン含量の選抜効果 ○柳田大介・野田智昭* (北海道北見農試,*北海道花・野菜技セ)</p>	<p>野 062 野菜苗・花き類栽培における簡易エブ・アンド・フロー方式 給水システムの適用 (第5報) 夏季における数種葉菜類の収量に及ぼす施肥量の影響 ○安西昭裕¹・伊藤博章²・石々川英樹¹・弓達 隆¹ (愛媛農水研,²愛媛八幡浜支局産地育成室)</p>
11:30	<p>果 011 国内に自生するクロミノウグイスカグラの地理的分布およびその倍數性変異について ○宮下朋美¹・柴田 洋²・桐山和也¹・荒木 肇³・星野洋一郎^{1,3,4} (北大院環境科学院,²北大院農学院,³北大北方生物園セ,⁴北大創成研)</p>	<p>果 032 アロニア果実の発育に伴うアントシアニン組成の変化 ○鈴木 卓・栗本和茂・横田 蘭・宮坂佳世・阪井悠介・鈴木正彦 (北海道大院農学研究院)</p>	<p>果 054 カンキツ花粉の発芽阻害物質について ○林田誠剛¹・川村直樹² (長崎果樹試,²晃栄化学工業)</p>	<p>野 011 オランダおよび日本品種トマト苗の根の透過性について ○石川桐子・古川智久・大賀聡子・向井航太郎・池田 敬 (明治大農学部)</p>	<p>野 037 レタスビッグベイン病抵抗性品種 'フユセカリ' の育成 ○川頭洋一¹・杉山慶太²・野口裕司¹・小島昭夫¹・坂田好輝¹・藤野雅丈³・由比 進⁴・片岡 園⁴ (農研機構野菜茶研,²農研機構北農研,³農研機構近中四農研,⁴農研機構東北農研)</p>	<p>野 063 ハウス栽培ホウレンソウにおける数種の代替品目の作付における盛夏期の生育および収量に及ぼす影響 ○森山真久 (農研機構東北農研)</p>
11:45		<p>果 033 夜間低温とABAはブドウ '巨峰' 果皮のアントシアニン合成を異なる機構で促進する ○掛澤傑史・富田 横谷香織・菅谷純子・瀬古澤由彦・弦間 洋 (筑波大院生命環境科学研究所)</p>		<p>野 012 トマトハイワイヤー栽培における日本と欧州品種の収量と品質評価 ○陣在ゆかり・荒川隆浩・齊藤 章 (株) 誠和)</p>	<p>野 038 レタスの形質転換におけるユビキチンプロモータの有効性と品質評価 ○陣在ゆかり・荒川隆浩・齊藤 章 (株) 誠和)</p>	<p>野 064 メタン発酵から生じたる液の利用がトンネル初夏どりネギの生育および収量に及ぼす影響 ○千吉良敦史¹・中村耕士²・山本二美¹ (千葉農林総研セ,²山武農林振セ)</p>
12:00				<p>栽培:トマト II 福元 康文 野 013 栽培管理・環境データの解析によるトマト栽培支援システムの開発 (第1報) ハイワイヤー整枝法による長期栽培における即時制御灌水と日射量の関係 ○川嶋和子¹・番 喜宏²・山口徳之¹・榎原政弘¹ (愛知農総試園研,²愛知農総試山間)</p>	<p>育種・品種:ナス他 松添 直隆 野 039 ホウレンソウ低シュウ酸突然変異系統の育成および抽苔特性 ○村上賢治¹・伊丹良美²・樹田正治¹ (岡山大院自然科学研究所,²岡山大農)</p>	<p>病害虫・生理障害 東尾 久雄 野 065 露地栽培 'ミズナス' におけるつや無し果発生時間と葉面散水の効果 ○鈴木敏征・磯部武志 (大阪環農水研)</p>
12:15				<p>野 014 循環キャビラリー栽培システムを用いた高糖度トマト生産における栽培途中でのNO₃-N供給量変更による生育制御 ○大石直記¹・守谷栄樹² (静岡農林研,²中部電力(株) エネルギー応用研)</p>	<p>野 040 多両性花性を有するスイカ新系統 'すいか中間母本農1号' の育成とその特性 ○杉山充啓¹・杉山慶太²・森上昌三³・小原隆由¹・齊藤猛雄¹・吉田建実¹・坂田好輝¹ (農研機構野菜茶研,²農研機構北農研,³農研機構東北農研)</p>	<p>野 066 キュウリホモポリシ根腐病による被害を抑える整枝法の開発 ○山口貴之 (岩手農研セ)</p>

第1日 3月19日(木) 10:45 ~ 12:30

G会場 1103 野菜 IV	H会場 1143 花き I	I会場 1146 花き II	J会場 1145 花き III	K会場 1126 利用 I	時間
野 086 寒冷地におけるイチゴ長期冷蔵苗の冷蔵開始時期が開花および収量に及ぼす影響 ○矢野孝喜・長宮香織・山崎博子・榎本勝彦・山崎篤・森下昌三(農研機構東北農研)	花 008 ベチュニア属の野生種と品種の白花の成因 ○毛井智子 ¹ ・佐々木秀典 ¹ ・小泉真佑子 ¹ ・松原紀嘉 ² ・立澤文見 ³ ・児玉浩明 ¹ ・安藤敏夫 ¹ (¹ 千葉大院園芸学研究所, ² 千葉大環境健康フ科セ, ³ 南九州大付属農場)	花 029 キクにおいて花芽分化能力の低下を伴うロゼット形成の誘導にはエチレンを介した情報伝達が関与する ○住友克彦・久松 完(農研機構花き研)	花 054 キンギョソウ切り花における蕾の成長とオーロン生成に及ぼす代謝糖質の影響 ○市村一雄・仁木朋子・渋谷健市・湯本弘子(農研機構花き研)	利 008 カンキツ種の香りが甘みに及ぼす影響 ○山本裕菜 ¹ ・浜部直哉 ² ・國賀 武 ³ ・根角博久 ⁴ ・大釜敏正 ⁵ ・野田勝二 ⁵ (¹ 千葉大学園芸学部, ² 静岡県農林技術研究所, ³ 農研機構近中四農研, ⁴ 農研機構果樹研, ⁵ 千葉大環境健康フィールド科セ)	10:45
花芽分化:イチゴ 西本 登志 野 087 四季成り性種子繁殖型イチゴF ₁ 系統の花芽分化に及ぼす日長・温度条件の影響 ○井口 工 ¹ ・加藤伊知郎 ² (¹ 香川農試, ² 中讃農改セ)	組織培養 大城 関 花 009 宿根花卉の組織培養による一時的増殖方法 ○細木高志(島根大学生物資源科学部)	花 030 キクのロゼット形成とジベレリン生成酵素遺伝子の発現 ○久松 完 ¹ ・川出 洋 ² ・腰岡政二 ^{1*} (¹ 農研機構花き研, ² 東京農工大学農学部, [*] 日本大学生物資源科学部)	花 055 高温処理がカーネーション切り花のエチレン生成およびシステインプロテアーゼ遺伝子の発現に及ぼす影響 ○渋谷健市・市村一雄(農研機構花き研)	利 009 メロン‘ライフ’果実の日持ち性に関する研究 ○ヤン チャチャン・西沢隆・村山秀樹(山形大農学部)	11:00
野 088 ‘章姫’の心止まり発生に及ぼす温度と日長の影響 吉田裕一 ^{1,2} ・○中山雄介 ¹ (¹ 岡山大自然科学研究科, ² (有)のぞみふぁーむ)	花 010 低温処理における培地中の糖濃度がチューリップの小球根形成に及ぼす影響 ○山崎千夏 ¹ ・荻田信二郎 ² ・加藤康夫 ² ・荏司和明 ¹ (¹ 富山農総技セ農研, ² 富山県大工学部)	花 031 キクの発育相の呼称について一再考 ○谷川孝弘・中村知佐子・山田明日香・栗山拓郎・佐伯一直(福岡農総試)	花 056 カーネーションの花弁老化時に発現する ACC 合成酵素遺伝子 <i>DcACSI</i> のゲノム DNA 構造の解析 ○原田太郎 ¹ ・村越友衣乃 ² ・棚瀬幸司 ³ ・小野崎隆 ³ ・佐藤 茂 ^{1,4} (¹ 京都府大院生命環境科学研究科, ² 京都府大農学部, ³ 農研機構花き研, ⁴ 京都農資セ)	収穫後生理 村山 秀樹 利 010 トマトβ-ガラクトシダーゼ(TBG)4の精製 ○枝 真広 ¹ ・石丸 恵 ¹ ・木下誉富 ² ・David L. Smith ³ ・Kenneth C. Gross ³ ・多田俊治 ² (¹ 大阪府立大院生命環境科学, ² 大阪府立大院理化学系, ³ USDA-ARS)	11:15
野 089 イチゴ‘女峰’の頂花房と腋花房の分化に及ぼす赤外線カットフィルムの効果 ○吉田裕一 ^{1,2} ・尾崎英治 ¹ (¹ 岡山大学農学部, ² (有)のぞみふぁーむ)	花 011 ファレノプシス幼植物体におけるプロトコーム様球体の形成 ○佐野太郎 ¹ ・出口晃裕 ² ・札幌高志 ² ・野中勝利 ² ・奈良 伸 ² ・北島 宣 ² (¹ 京都大農学部, ² 京都大院農学研究科)	キク II 久松 完 花 032 夏秋ギク品種の貫生花発生と花芽形成の限界日長との関係 ○佐伯一直・谷川孝弘・中村知佐子・山田明日香・栗山拓郎(福岡農総試)		利 011 トマトのα-アラビノフラノシダーゼファミリーの発現解析と異種細胞系によるタンパク質発現 ○立石 亮 ¹ ・松野純子 ² ・聖代橋史佳 ² ・渡辺慶一 ³ ・井上弘明 ¹ (¹ 日本大生物資源科学部, ² 日本大院生物資源科学研究科, ³ 日本大短期大学部)	11:30
育種・品種特性: イチゴ 野口 裕司 野 090 極早生性を有した炭疽病抵抗性イチゴ新品種‘かおり野’の育成 ○北村八祥・森利樹(三重農研)	花 012 非共生培養法によるチョウセンキバナアツモリソウ(ラン科)完熟種子からの効率的な発芽とプロトコーム形成 ○三吉一光(秋田県立大生物資源科学部)	花 033 分光分布の異なる LED による暗期中断が秋ギクの発蕾に及ぼす影響 ○石倉 聡 ¹ ・梶原真二 ¹ ・吉村文敏 ² ・細野幸治 ² (¹ 広島総研農技セ, ² シャープ㈱)		利 012 <i>LeACS2</i> と <i>LeACS4</i> の RNA interference 形質転換トマト系統のホモ固定と果実遺伝子発現解析 ○永田雅晴 ¹ ・神尾尚子 ¹ ・平賀(濃瀬) 智子 ¹ ・野口有里紗 ¹ ・今西俊介 ¹ ・森仁志 ² (¹ 農研機構野菜茶研, ² 名大大学院生命農学)	11:45
野 091 四季成り性イチゴ新品種‘南農イチゴ2号’の育成 ○木下義明 ¹ ・山口秀和 ¹ ・矢澤有紀 ² (¹ 長野南信農試, ² 上伊那農改善セ)		花 034 地温および気温がキクの黄斑発生に及ぼす影響 ○山口訓史・藤田紫乃・内田みどり・後藤丹十郎(岡山大院自然科学研究科)			12:00
野 092 四季成り性イチゴ新品種‘サマーティアラ’の育成 ○荏司善守・丸山康広・伊藤政憲(山形庄内農技普課産地研究室,*山形庄内農技普課)					12:15

第1日 3月19日(木) 12:30～13:00

時間	A会場 1012 果樹Ⅰ	B会場 1123 果樹Ⅱ	C会場 1125 果樹Ⅲ	D会場 1011 野菜Ⅰ	E会場 1106 野菜Ⅱ	F会場 1105 野菜Ⅲ
12:30				<p>野 015 キトサン混和処理が殺菌土壌および無菌播種におけるトマト苗の成長に及ぼす影響 ○スリプッタ アカデット・斎藤 新 (農研機構野菜茶研)</p>	<p>野 041 単為結果性ナス育種における収量性の改善 ○齋藤 新 (農研機構野菜茶研)</p>	<p>野 067 モンシロチョウメス成虫の探索行動における寄主植物揮発性抽出物の影響 ○池浦博美¹・早田保義² (¹ 明治大院農学研究所, ² 明治大農学部)</p>
12:45				<p>野 016 培地容積と灌水方法の違いがトマトの生育におよぼす影響 ○吉田千恵*・岩崎泰永 (宮城農園研, 東北大学農学研究科)</p>	<p>野 042 単為結果性ナスの収量性および収量構成要素 ○古賀 武・下村克己・末吉孝行・浜地勇次 (福岡農総試)</p>	<p>野 068 遮熱効果のある資材のトンネル被覆が夏どりコカブの横溝症、根部の外観品質および根重に及ぼす影響 ○高野幸成・猪野 誠・山本二美 (千葉農林総研セ)</p>

第1日 3月19日(木) 12:30～13:00

G会場 1103 野菜Ⅳ	H会場 1143 花きⅠ	I会場 1146 花きⅡ	J会場 1145 花きⅢ	K会場 1126 利用Ⅰ	時間
野 093 四季成り性イチゴ品種における 四季成り性の強弱の評価法 ○森下昌三・本城正憲・濱 野 恵・山崎浩道・矢野孝 喜(農研機構東北農研)					12:30
					12:45

第2日 3月20日(金) 9:00~10:45

時間	A会場 1012 果樹Ⅰ	B会場 1123 果樹Ⅱ	C会場 1125 果樹Ⅲ	D会場 1011 野菜Ⅰ	E会場 1106 野菜Ⅱ	F会場 1105 野菜Ⅲ
9:00	<p>遺伝育種(ニホンナシ) 澤村 豊</p> <p>果012 ナシの選抜マーカーに関する研究(第7報)ニホンナシ「新高」×「筑水」のF₁分離集団における果皮色表現型の数量化 ○大島良彦¹・郷内 武²・霞 正一²・本間貴司¹・原 弘道¹・井上栄一¹ (¹茨城大農学部,²茨城生工研)</p>	<p>休眠 菅谷 純子</p> <p>果034 ウメの自発休眠芽で発現するMADS-box遺伝子の解析 ○大岡智美・上達弘明・山根久代・尾尾龍太郎・米森敬三(京都大院農学研究科)</p>	<p>ブドウ(1) 金原 啓一</p> <p>果055 ジベレリンとブドウ花冠取りの同時処理による花冠取りの省力効果 ○薬師寺博¹・上野俊人[*]・東 晁史¹・児下佳子¹ (¹農研機構果樹研(安芸津),[*]山梨果樹試)</p>	<p>栽培:トマトⅢ 丸尾 達</p> <p>野017 傾斜地のトマト個体群の受光態勢一日射フィルムによる実測と3Dモデルによる解析— ○東出忠樹(農研機構近中四農研)</p>	<p>遺伝子解析他 松島 憲一</p> <p>野043 タマネギBAC libraryからのタマネギ催涙因子合成酵素(LFS)遺伝子を含むクローンの選抜とその解析 ○正村典也^{1,2}・今井真介²・鈴木 剛³・向井康比己³・執行正義⁴(¹鳥取大院連合農学研究科,²ハウス食品(株),³大阪教育大教養,⁴山大口大農学部)</p>	<p>生育生理:葉菜類 岡田 邦彦</p> <p>野069 リーフレタスの湛水害発生への有害物質の関与について ○東尾久雄・相澤証子・國久美由紀・村上健二・徳田進一・浦上敦子(野菜研)</p>
9:15	<p>果013 黒星病耐病性ニホンナシ品種の育成に関する研究 1.ニホンナシ「南水」の黒星病耐病性の評価 ○小仁所邦彦¹・船橋徹郎¹・石井英夫²・江口直樹¹ (¹長野南信農試,²独立行政法人農業環境技術研究所)</p>	<p>果035 ニホンナシの自発休眠導入および覚醒に関する候補遺伝子群の発現解析 ○竹村圭弘¹・須藤幸子²・黒木克翁²・伴雄介³・森口草哉^{3,4}・田村文男^{1,2} (¹鳥取大院連合農学研究科,²鳥取大学農学部,³筑波大院生命環境科学研究所,⁴農研機構果樹研)</p>	<p>果056 醸造用ブドウの新整枝せん定法ハヤシースマートシステムに関する研究(第1報)果房に対する光環境及び果実品質 ○山下裕之(長野中農試)</p>	<p>野018 冬期寡日照地域の促成栽培トマトにおける空気膜フィルムの適用性 ○椋 重芳¹・島谷隆之² (¹鳥根農研セ,²鳥根中山間地域研セ)</p>	<p>野044 トウガラシ属における栽培形質のマッピング ○三村 裕¹・南山泰宏²・平井正志^{1,3}(¹京都農研研セ,²京都農研研セ,³京都府大院生命環境科学科)</p>	<p>野070 低温処理と加温栽培によるギョウジャニンニク1年生実生の発育促進 ○伊藤政憲(山形庄内産地研)</p>
9:30	<p>果014 ナシ(<i>Pyrus</i> spp.)における染色体の蛍光染色 ○山本雅史¹・高田教臣²・平林利郎²・久保達也¹・富永茂人¹(¹鹿児島大農学部,²農研機構果樹研)</p>	<p>果036 鳥取県での温暖化に伴うニホンナシの自発休眠打破および開花時期の変動予測 ○須藤幸子¹・池田隆政^{2,3}・竹村圭弘²・福田真史¹・黒木克翁⁴・田村文男⁴ (¹鳥取大院農学研究科,²鳥取大院連合農学研究科,³鳥取園試,⁴鳥取大農学部)</p>	<p>果057 ブドウの簡易保温施設栽培における無電源自動換気装置の設置による気温上昇の抑制効果 ○西川祐司¹・山根崇嘉¹・浜名洋司¹・新井 仁² (¹鳥取大院農学研究科,²誠和)</p>	<p>野019 循環異なる空気攪拌範囲の機械開差の比較 ○畔柳武司(農研機構近中四農研)</p>	<p>野045 ピーマン青枯病抵抗性に関するQTL解析(第2報)他集団を用いたQTL解析 ○杉田 亘¹・世見由香里¹・細美祐子²・大山曉男³・澤田博正²・福岡浩之³・島越 敏⁴・長田龍太郎¹ (¹宮崎農試,²高知農試セ,³野菜研,⁴タキイ種苗)</p>	<p>野071 播種時期の違いが春播きシユンギクの収穫適期に及ぼす影響 ○山崎嘉基¹・嘉悦佳子¹・蔵部武志¹(¹大阪環農総研)</p>
9:45	<p>ニホンナシ(1) 島田 智人</p> <p>果015 地球温暖化が千葉県内におけるニホンナシの生育に及ぼす影響 ○戸谷智明・川瀬信三(千葉農林総研セ)</p>	<p>果037 リンゴの発芽、展葉、開花の植物季節を予測するモデル ○朝倉利員¹・杉浦裕義¹・阪本大輔¹・杉浦俊彦¹・弦間 洋²(¹農研機構果樹研,²筑波大院生命環境科学研究所)</p>	<p>ブドウ(2) 馬場 正</p> <p>果058 赤色LED光源による夜間電照処理がブドウ「ピオーネ」の果粒肥大に及ぼす影響 ○齊藤典義¹・宇土幸伸¹・三森真里子¹・萩原 茂²・阿部 治²・平川寛之² (¹山梨果樹試,²山梨工技セ)</p>	<p>栽培:トマトⅣ 東出 忠樹</p> <p>野020 トマト果実における塩類ストレスによるγ-アミノ酪酸(GABA)蓄積促進機構の解析 ○大池峻吾¹・日暮奈月¹・稲井秀二²・福田直也¹・松倉千昭¹・江面 浩¹ (¹筑波大院生命環境科学研究所,²日本デルモンテ㈱)</p>	<p>マーカー 山岸 博</p> <p>野046 SSRマーカーに基づくヤマイモとジネンジョウの分類(予報) ○吉田康徳¹・藤 晋一¹・井上みづき¹・岡山直人¹・今西弘幸¹・神田啓臣¹・高橋春實¹・金浜耕基² (¹秋田県立大学生物資源科学部,²東北大学農学研究科)</p>	<p>成分・色・香りⅠ 鈴木 敏征</p> <p>野072 高濃度汚染土壌における数種果菜類の果実中Cd濃度の品目間差およびアルカリ資材施用によるトマトのCd吸収抑制 ○辻 顕光(農研機構野菜茶研)</p>
10:00	<p>果016 ニホンナシの盛土式根圏制御栽培における底面給水法(第2報)給水管内施肥法が窒素溶出率、樹体生育、収量及び作業時間に及ぼす影響 ○大谷義夫¹・八巻良和²・林雅子¹・柳木農試²・宇都宮大農学部)</p>	<p>カキ(1) 杉村 輝彦</p> <p>果038 干し柿「市田柿」の原料果実の減肥栽培が果実品質に与える影響 ○船橋徹郎・塩原 孝・齋藤龍司(長野南信農試)</p>	<p>果059 遮光時期の違いおよび遮光条件下での環状剥皮がブドウ「安芸クイーン」の着色と糖度に及ぼす影響 ○朝倉利員¹・遠藤義範¹・根津 潔²・阪本大輔¹・杉浦裕義¹・杉浦俊彦¹ (¹農研機構果樹研,²新潟農総研園研セ)</p>	<p>野021 「防根給水ひも」栽培における中玉トマトの果実生産性と水利用効率 ○梶田正治¹・恒川仰一² (¹岡山大院自然科学研究所,²岡山大農)</p>	<p>野047 根こぶ病と黄化病に抵抗性を有するハクサイ(<i>Brassica rapa</i>)の選抜 ○松元 哲¹・高下新二²・宮崎俊夫²・島山勝徳¹・吹野伸子¹・近藤友宏² (¹農研機構野菜茶研,²日本農林社)</p>	<p>野073 数種ネギ属植物(<i>Allium</i> spp.)におけるAlk(en)yl cystein sulphoxides(ACSOs)組成の特徴 ○永井翔太¹・室 崇人²・篠田浩一²・嘉見大助²・杉山慶太²・鈴木 卓¹・鈴木正彦¹ (¹北海道大院農学研究科,²農研機構北海道農研)</p>
10:15	<p>果017 ニホンナシ樹体ジョイント仕立てにおける最適育苗法の検討 ○兼田朋子[*]・柴田健一郎・関 達哉・曾根田友曉・小林正伸(神奈川農試セ,²東京農大農学部)</p>	<p>果039 果実の加工利用を目的としたカキ「刀根早生」の多収・省力生産技術 ○堀田宗幹・和 中 学[*]・小松英雄・角田秀孝・田中康之(和歌山農林水産総技セ果樹試かき・もも研)</p>	<p>果060 光合成とその産物の転流によるブドウ果粒成熟期における灌漑限界値の確立 ○王世平^{1,2}・井上光弘¹・張清濤¹・森谷慈留¹・辻 渉¹・田邊賢二³・田村文男³ (¹鳥取大乾燥研 中国,²上海交大農院,³鳥取大農学部)</p>	<p>野022 「防根給水ひも」を用いたトマト砂栽培手法の開発—異なる粒子中の水移動と生育収量に及ぼす砂中湿度の影響— ○Zoha,M.S.・梶田正治(岡山大院自然科学研究所)</p>	<p>野048 ハウレンソウの性判定マーカー開発に向けた試み ○小野寺康之・与那覇 至・増茂弘規・三上哲夫(北海道大農学研究科)</p>	<p>野074 カブ胚軸のアントシアニン合成における青色光とUV-Aの単独効果およびUV-B複合効果の比較 ○加藤彩子¹・河野喜子¹・宮本健太郎²・李 玉花³・河崎実之¹(¹東京大院農学生命科学研究科,²東京農学部,³東北林業大生命学院)</p>
10:30	<p>果018 ナシの接ぎ木ジョイント樹における主幹切断が、葉の水ポテンシャルおよび蒸散速度に及ぼす影響 ○関 達哉¹・柴田健一郎・曾根田友曉¹・小林正伸¹・弦間 洋²(¹神奈川農試セ,²筑波大院生命環境科学研究所)</p>	<p>果040 カキ「太秋」の両性花と雌花における果実発育と細胞の大きさおよび細胞数との関係 ○長谷川耕二郎・濱田和俊・尾形凡生(高知大学農学部)</p>	<p>果061 ブドウ「巨峰」の根域制限栽培における蒸散量に基づく灌水管理法 ○金原啓一¹・八巻良和²・岸 祐子^{1,2}・須藤貴子¹ (¹栃木農試,²宇都宮大農学部,[*]那須農振事務所)</p>	<p>ピーマン類 三村 裕</p> <p>野023 ピーマン接ぎ木栽培に関する研究(第2報)接ぎ木時期の違いが苗の生育および収量に及ぼす影響 ○蘭幸田真作¹・武田和宣²・黒木利美¹・渡司照久¹ (¹宮崎農試,²南那珂農振)</p>	<p>野049 トランスクリプトーム解析によるイチゴ交雑後代の炭疽病抵抗性識別 ○平島敬太¹・榎本亜紀子²・片山貴雄¹・田代康介²・平川英樹²・石井貴明¹・柴戸靖志¹・三井寿一¹・平田千春¹・池上秀利¹・中原隆夫¹・牟田 滋²・山本 潔²・黒川小百合²・龍 俊輔²・久原 哲² (¹福岡農試,²九大農)</p>	<p>成分・色・香りⅡ 金地 通夫</p> <p>野075 サラダ用ゴボウの品種選定および電子レンジ調理におけるポリフェノール含量と食味 ○姫野修一¹・渡邊敏朗²・田中良幸¹(¹福岡農試豊前,²福岡県経営技術支援課)</p>

第2日 3月20日(金) 9:00～10:45

G会場 1103 野菜Ⅳ	H会場 1143 花きⅠ	I会場 1146 花きⅡ	J会場 1145 花きⅢ	K会場 1126 利用Ⅰ	時間
<p>栽培：ウリ科 杉山 充啓</p> <p>野 094 スイカ果実の細胞の大きさと糖含量に及ぼす夜間の果実加温処理温度の影響 ○加納 恭¹・片山博貴¹・宮本一生¹・池下洋一²・金森友里²・松下和佳子¹ (¹石川県立大生物資源環境学部,²石川農総研セ砂丘地農試)</p>	<p>遺伝子解析 細川 宗孝</p> <p>花 013 チューリップの花における花底部特異的青色発現の分子メカニズム ○荘司和明(高山農総研セ農研)</p>	<p>栽培・作型 後藤丹十郎</p> <p>花 035 根域環境制御装置(RECS)を利用した根域温度制御による鉢花の生育調節 ○窪田 聡・遠藤路子・横山和正・腰岡政二(日本大学生物資源科学部)</p>		<p>機能性成分(1) 小川 一紀</p> <p>利 013 カキフラボノイド化合物の機能性と消臭効果 成徳 聡・藤井大樹・板村裕之(島根大生物資源科学部)</p>	9:00
<p>野 095 メロン近縁野生種を台木に用いた抑制メロンの生育、収量および果実品質 ○金子賢一¹・小原孝司¹・松本雄一²³・高津康正⁴ (¹茨城農総研園研,²茨城農総研セ生工研,³東京農工大院連合農学研究所,⁴茨城農総研セ農大)</p>	<p>花 014 カーネーションのアントシアニン合成に関与するリンゴ酸転移酵素遺伝子 ○梅直直行¹・阿部 裕²・Emilio A. Cano³・岡村正愛⁴・百瀬真幸¹・佐々木伸大²・吉田 聡¹・小関良宏² (¹キリンHDフロンティア技研,²農工大工学部,³Barbet Blanc,⁴キリンアグリバイオ植物研)</p>	<p>花 036 洋ランの栽培の基本検討(4)蒸散量の測定と水やり ○井上直久¹・岩澤洋樹²・根岸秀和³・長村智司⁴・津村兼光⁵・井上恒久⁶ (¹東京農工大,²向山蘭園,³根岸園芸,⁴大阪テクノホルティ園芸学校,⁵大江化学工業,⁶農環研)</p>		<p>利 014 植物病原菌への揮発性抗菌成分を有する植物の検索 ○石田健治¹・杉内佐津希²・小林史幸³・早田保義² (¹明治大院農学研究所,²明治大農学部,³明治大研究・知財戦略機構)</p>	9:15
<p>野 096 メロンのトンネル1つる1果どり栽培における遊びづつの役割 ○吉田俊郎・川城英夫(千葉農総研セ)</p>	<p>花 015 数種類のアジサイ品種の芽条変異発生株におけるレトロトランスポゾン様配列の発現 ○上野達也・石川紗久佳・杉山ひとみ・奥村麻未・林憲司(滋賀県大環境科学部)</p>	<p>花 037 花壇苗の弱光下における品質低下とその回避 ○竹本哲行¹・前田茂一²・中野善吉³・島 浩二⁴ (¹京都農総研,²奈良農総研,³近中四農研セ,⁴和歌山農総研セ農試)</p>		<p>利 015 ナラ類(コナラ、ミズナラ)種実中のタンニン類の分析 ○浅野 聡¹・西脇俊和¹・佐藤嘉一¹・乙部 和紀² (¹新潟農総研研セ,²農研機構中央農研)</p>	9:30
<p>野 097 メロン葉の黄化が果実肥大および品質に及ぼす影響 ○林田慎一・行徳 裕・小野 誠(熊本農研セ)</p>	<p>遺伝子組換え 仁木 智哉</p> <p>花 016 カロテノイド分解酵素遺伝子(CmCCD4a)の発現抑制による「黄花神馬」の作出 ○大宮あけみ・住友克彦・間 竜太郎(農研機構花き研)</p>	<p>花 038 プリムラ・ボリアンサの暗黒条件下での低温処理における開花および草姿に及ぼす異なる温度の組み合わせ処理およびわい化剤処理の影響 ○石川貴之(埼玉農総研セ園研)</p>		<p>機能性成分(2) 板村 裕之</p> <p>利 016 スイカにおける生理活性成分の機能解析と利用 ○足立 勝¹・黒木梨加¹・倉田裕文²・武 櫻³・王建栄³・張 開放³(¹宮崎大院農学研究所,²(株)下森建築,³中国湖北省開放実業(集団)有限公司)</p>	9:45
<p>発芽・育苗 名田 和義</p> <p>野 098 保存温度および種子選別とジベレリン処理がセンブリ種子の発芽に及ぼす影響 ○山田麻美子¹・兼子まや¹・柳沢一馬²・塚越 寛¹・元木 悟³・萩原保身²・野田勝二¹・池上文雄¹ (¹千葉大学環境健康フィールド科セ,²長野県野菜花き試佐久支場,³長野野菜花き試)</p>	<p>花 017 シロイヌナズナ FT 遺伝子を導入したキクの軸上の花成の勾配と FT 遺伝子発現 ○川崎真裕¹・鳴海貴子¹・清末知宏²・深井誠一¹ (¹香川大農,²香川大総合生命科学実験セ)</p>	<p>トルコギキョウ 谷川 孝弘</p> <p>花 039 トルコギキョウの出蕾期以降の二酸化炭素施与および長日処理がブラスチングの発生に及ぼす影響 ○福島啓吾¹・伊藤純樹¹・中野善吉²(¹広島農総研農研セ,²農研機構近中四農研セ)</p>		<p>利 017 ニンジンにおける機能性成分の探索と利用 足立 勝¹・黒木梨加¹・瀬戸将文¹・黒木潔²・倉田裕文³・武 櫻³・王建栄³・張 開放³ (¹宮崎大院農学研究所,²(農業法人)幸村³(株)下森建築,³中国湖北省開放実業(集団)有限公司)</p>	10:00
<p>野 099 オクラ種子の出芽最適温度 ○高畑 健・峯 洋子・三浦周行(東京農大農学部)</p>	<p>花 018 シロイヌナズナ FT 遺伝子導入によるリンドウの開花促進 ○中塚貴司・阿部善子・柿崎裕子・久保田亮子・嶋田典基・西原昌宏(岩手生工研セ)</p>	<p>花 040 トルコギキョウの出蕾期以降の二酸化炭素施与と長日処理が地上部各器官の乾物重および炭素・窒素量に及ぼす影響 ○伊藤純樹¹・中野善吉²・福島啓吾¹(¹広島農総研農研セ,²農研機構近中四農研セ)</p>		<p>利 018 スイートピーにおける生理活性成分の機能解析 足立 勝¹・黒木梨加¹・倉田理恵²・倉田裕文³・下森康史³(¹宮崎大院農学研究所,²農研機構九州沖縄農研センター,³(株)下森建築アグリバイオ事業部)</p>	10:15
<p>野 100 単為結果性トマトのPCIB処理による採種効率の向上 ○淨閑正史・千葉朋子・山本千紘・小田雅行(大阪府立大院生命環境科学研究所)</p>	<p>マーカー 中塚 貴司</p> <p>花 019 自家不和合性遺伝子(S-RNase)を用いた‘ソメイヨシノ’の系譜～結城農場のサクラ～ ○上村文武¹・高部知史²・毛井智子¹・松原紀嘉³・安藤敏夫¹(¹千葉大院園芸学研究所,²千葉大院園芸学部,³千葉大環境健康フ科セ)</p>	<p>花 041 光合成予測モデルによるトルコギキョウの効果的炭素施肥法の検証 ○牛尾亜由子・福田直子(農研機構花き研)</p>		<p>生理活性物質・利用・園芸活動 足立 勝</p> <p>利 019 レトラロースの葉面散布がサツマイモ、レタス、キャベツの生育に与える影響 ○小林 透¹・倉田理恵¹・鈴木崇之¹・川合俊之² (¹九州農セ,²(株)林原)</p>	10:30

第2日 3月20日(金) 10:45～12:00

時間	A 会場 1012 果樹 I	B 会場 1123 果樹 II	C 会場 1125 果樹 III	D 会場 1011 野菜 I	E 会場 1106 野菜 II	F 会場 1105 野菜 III
10:45	<p>ニホンナシ (2) 田村 文男</p> <p>果 019 熊本県におけるニホンナシ ‘あきづき’の果肉崩壊症 (仮称)の発生実態 ○上村浩憲¹・加久のみ子¹・ 岡田眞治¹・中溝一晴²・ 岩谷章生¹・榊 英雄¹ (¹熊本農研セ果樹,²熊本県 農政部)</p>	<p>カキ (2) 船橋 徹郎</p> <p>果 041 カキ果実に含まれる縮合型タ ンニンの同定とその品種間差 異 ○鈴木靖彦・上高原浩・ 高野俊幸・中坪文明・米森 敬三(京都大院農学研究科)</p>	<p>イチジク・リンゴ 渡邊 学</p> <p>果 062 イチジク株枯病の感染がイチ ジク‘セレスト’苗の生育に 及ぼす影響 ○細見彰洋・瓦谷光男・ 三輪由佳(大阪環農水総研)</p>	<p>野 024 ビーマンの完熟果どり栽培に 適した主枝の仕立て本数 ○小林 理¹・小林伸三^{1*}・ 川上敬志¹(¹千葉農林総研 セ,²千葉農大)</p>	<p>遺伝資源 坂田 好輝</p> <p>野 050 イチゴの8倍体種 <i>Fragaria</i> × <i>ananassa</i> と2倍体種 <i>F. vesca</i> の 種間正逆交雑により得られた 個体の倍索性 ○岩田貴志¹・柳 智博¹・ ナスワット プリーダ¹・ 曾根一純²(¹香川大農学部, ²農研機構九州沖縄農研)</p>	<p>野 076 大和マナの大きさが食味特性 と内容成分に及ぼす影響 ○北條雅也・浅尾浩史・ 西本登志・平浩一郎・米田 祥二・後藤公美・堀川大輔・ 前田茂一(奈良農総セ)</p>
11:00	<p>果 020 ニホンナシ ‘あきづき’の果 肉褐変症状の形態学的特性と 発生に及ぼす植物生長調節物 質処理の影響 ○大川克哉¹・高野知恵¹・ 白石奈種²・豊田佳央²・ 大川広子²・小原 均³・ 近藤 悟¹(¹千葉大院園芸 学研究所,²茨城農総セ, ³千葉大環境健康フィール ド科学セ)</p>	<p>果 042 微気象環境制御によるカキの 開花時期の調節技術の開発 ○本條 均¹・吉川英治レ オナルド¹・直井みのり¹・ 舟橋志津子²・大城克明²・ 関口英樹²(¹宇都宮大農学 部,²富山県農業技術セン ター果樹試験場)</p>	<p>果 063 リンゴJM 台木を使用した低 樹高栽培における樹体生育と 収量 ○工藤和典・別所英男・ 増田哲男・猪俣雄司・守谷 友紀・和田雅人・本多親子・ 副島淳一(農研機構果樹研)</p>	<p>野 025 抵抗性台木によるパプリカの 接ぎ木栽培が生育・収量と果 実品質に及ぼす影響 ○古野伸典¹・伊藤政憲¹・ 松永 啓²(¹山形庄内農技 普課産地研,²農研機構野菜 茶研)</p>	<p>野 051 中国のダイコンにおける細 胞質のタイプと花粉粘性回 復遺伝子の識別 ○Zhang, Li¹・山岸 博² (¹National Engineering Res. Center for Vegetables China, ²京産大工学部)</p>	<p>野 077 メロン果肉に含まれる口腔過 敏症プロテアーゼの品種群お よび熟期による違い ○山本将久¹・小林史幸²・ 池浦博美¹・早田保義³ (¹明治大院農学研究科,²明 治大研究・知財戦略機構, ³明治大農学部)</p>
11:15	<p>果 021 現地解体調査からみたナン萎 縮病発症樹における腐朽の存在 部位 ○塩田あづさ¹・金子洋平¹・ 中村 仁²・川瀬信三¹ (¹千葉農林総研セ,²農研機 構果樹研)</p>	<p>果 043 カキ‘刀根早生’のポット樹 の発芽に及ぼす高温処理の影響 ○杉村輝彦・脇坂 勝(奈 良農総セ果樹振セ)</p>	<p>果 064 リンゴわい性台木利用樹にお ける耐凍性の台木品種間差異 ○守谷友紀・岩波 宏・ 工藤和典・和田雅人・本多 親子・副島淳一・増田哲男 (農研機構果樹研)</p>	<p>野 026 生育適温下でセーシェル産ト ウガラシの葉に生じる異常な 細胞分裂 ○小枝壮太・細川宗孝・矢澤 進(京都大院農学研究科)</p>	<p>野 052 舞鶴市で収集したハマダイコ ンにおける細胞質と粘性回復 遺伝子の分化 ○山岸 博・張本孝悦・ 西村香里・松本欣剛・山下 陽子(京産大工学部)</p>	<p>野 078 Color signature に基づくメロン 果肉色の画像解析 ○吉岡洋輔・吹野伸子(野 菜茶研)</p>
11:30						
11:45						

第2日 3月20日(金) 10:45～12:00

G会場 1103 野菜Ⅳ	H会場 1143 花きⅠ	I会場 1146 花きⅡ	J会場 1145 花きⅢ	K会場 1126 利用Ⅰ	時間
<p>植物ホルモンなど 山崎 博子</p> <p>野 101 1-MCP, 硝酸銀およびGA₃処理が雌性型ニガウリの性分化に及ぼす影響 ○岩本英伸^{1,2}・林田慎一¹・位田晴久³(¹熊本農研セ,²宮崎大院農工学総合研究科,³宮崎大農学部)</p>	<p>花 020 シクナゲ類のSSR解析—ネパール・ロールワリン地域の<i>Rhododendron arboreum</i>遺伝資源について— ○田中孝尚¹・能城修一²・池田 博³・天野 誠⁴・鈴木三男¹・大場秀章³(¹東北大植物園,²森総研,³東大博物館,⁴千葉県博物館)</p>	<p>花 042 トルコギキョウの日持ち性を制御する栽培環境要因の解明(第1報)葉面へのワセリン塗布による蒸散能の制御が器官形成に及ぼす影響 ○宮本賢二・小野佳枝・由井秀紀・山本宗輝¹(長野野菜花試,²長野県農業技術課)</p>		<p>利 020 トレハロースおよびスクロースの組み合わせ処理がアステルベ切り花の品質と日持ちに及ぼす影響 ○ピリアスエバ エベリン・山根健治・八巻良和(宇都宮大農学部)</p>	10:45
<p>野 102 免疫局在法を利用した植物ホルモンのイメージング(第4報)IAA関連物質が発色レベルに与える影響 ○太田祐樹¹・知野秀次¹・齊藤洋太郎¹・本間麻衣子²・児島清秀¹(¹新潟大学大学院自然研,²新潟大学農学部)</p>	<p>花 021 <i>Rosa multiflora</i>(ノイバラ)のDNAマーカーの開発 ○青木八一郎¹・立松 翼¹・杉本浩基¹・景山幸二²・石黒 泰³・福井博一¹(¹岐阜大学応用生物科学部,²岐阜大流域圏センター,³岐阜大院連合農学研究科)</p>	<p>成分・色・香り 西島 陸明</p> <p>花 043 生体内リシン含量が花弁のアントシアニン合成を制御するペクチニアの組織培養後代で多発する白花個体 細川宗孝・○後藤真理子・山口有希・矢澤 進(京都大学院農学研究科)</p>		<p>利 021 野菜残渣のベレット化とその利用法に関する研究 ○佐藤佳奈美¹・小林史幸²・池浦博美³・石田健治³・徳田貴彦³・山本将久³・早田保義¹(¹明治大農学部,²明治大研究・知財戦略機構,³明治大院農学研究科)</p>	11:00
<p>野 103 外生アブシシン酸処理がイチゴさくら果および果実の発育に及ぼす影響 ○ピパッタナウォン ラッラビー・山根健治・八巻良和(宇都宮大農学部)</p>		<p>花 044 ‘千年藤紫’の紫色花色の発色におけるアルミニウムの関与 ○谷川奈津^{1,2}・井上博道³・中山真義^{1,2}(¹農研機構花き研,²筑波大院生命環境科学研究科,³農研機構果樹研)</p>		<p>利 022 園芸・農業系人材の保育への活用についての研究 ○杉浦広幸¹・東 孝明²(¹福島学院大,²JA上伊那)</p>	11:15
		<p>花 045 フェニルアラニンアンモニリアーゼ阻害剤によるユリ‘カサフランカ’の香りの抑制 ○大久保直美・中山真義・市村一雄(農研機構花き研)</p>			11:30
		<p>花 046 ノイバラの根に含まれる根腐病抑制物質 ○立松 翼¹・青木八一郎¹・杉本浩基¹・景山幸二²・中野浩平¹・石黒 泰³・福井博一¹(¹岐阜大応用生物科学部,²岐阜大流域圏センター,³岐阜大院連合農学研究科)</p>			11:45